

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強固なチームワークで支援にあたっている。	どの職員も報連相をととても意識している。	チームの目的を明確にして、日々の取り組みや活動の細部にまで目的意識を持つ。
2	問題解決のためにPDCAサイクルで向き合っている。	朝礼終礼等で困り感や解決すべき課題を話し合っている。ミーティング等で具体的な方法を取り決め全員で実践する。	効果測定をより明確に、出来れば具体的な数字等で確認し評価・見直しにつなげる。
3	いままでやったことのないイベントを企画する。	子どもたちにとってどんな経験がいいか意識している。どんなイベントがあるかリサーチしている。	あらゆる角度から情報収集する。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同法人内の系列の事業所と比べると経験が浅い。	経験年数が短いこと。	他事業所の情報を収集・共有し打ち合わせや研修で補う。
2	活動の空間の活用方法。スペースを活かしきれていない。	スペースの使い方が流動的になっている。	活動のスペースを分けられるように、パーティションやマット等を活用する。
3	玩具の種類や暖房設備など施設の設備の拡充。	子ども達へより効果的に支援するため、設備の取捨選択中。	設備・玩具について、在籍する児童にとってより良いものを吟味・検討し随時導入していく。